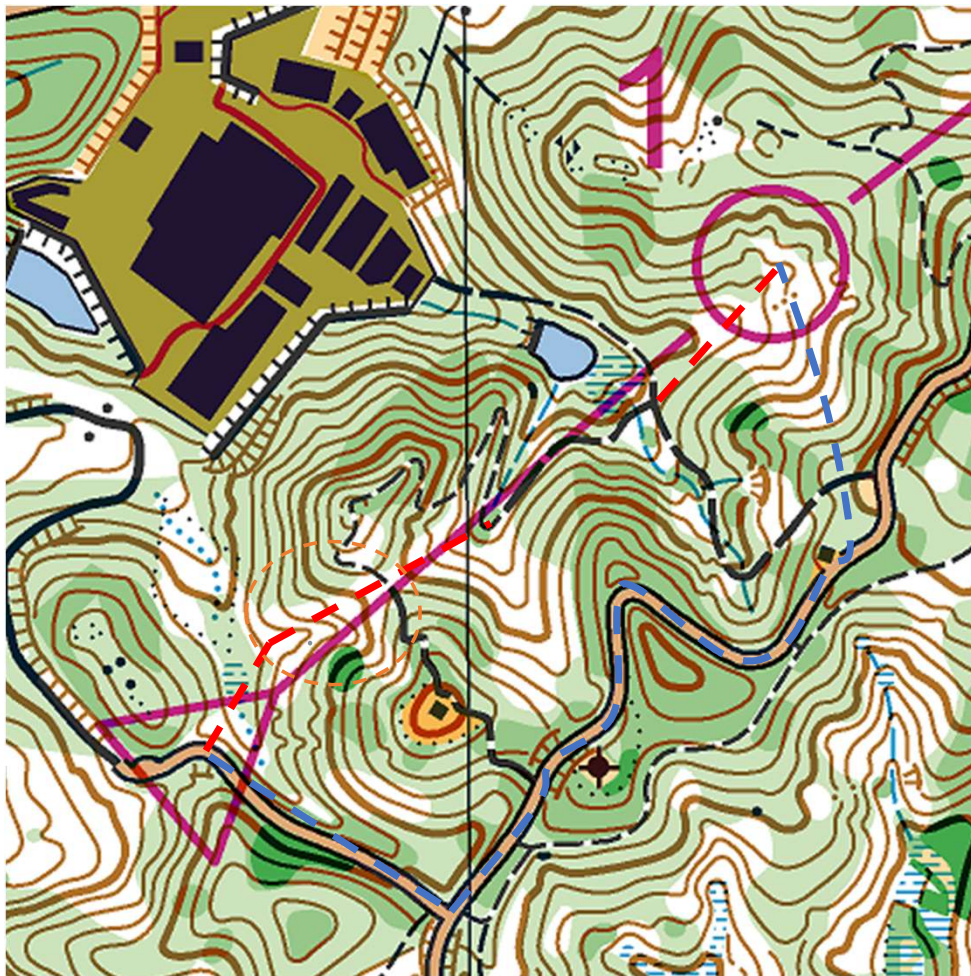


岡崎市民大会 コース解説

コースプランナー：神谷篤大(新潟大学OB1/三河OLC)



《M21A・W21A/M35A》

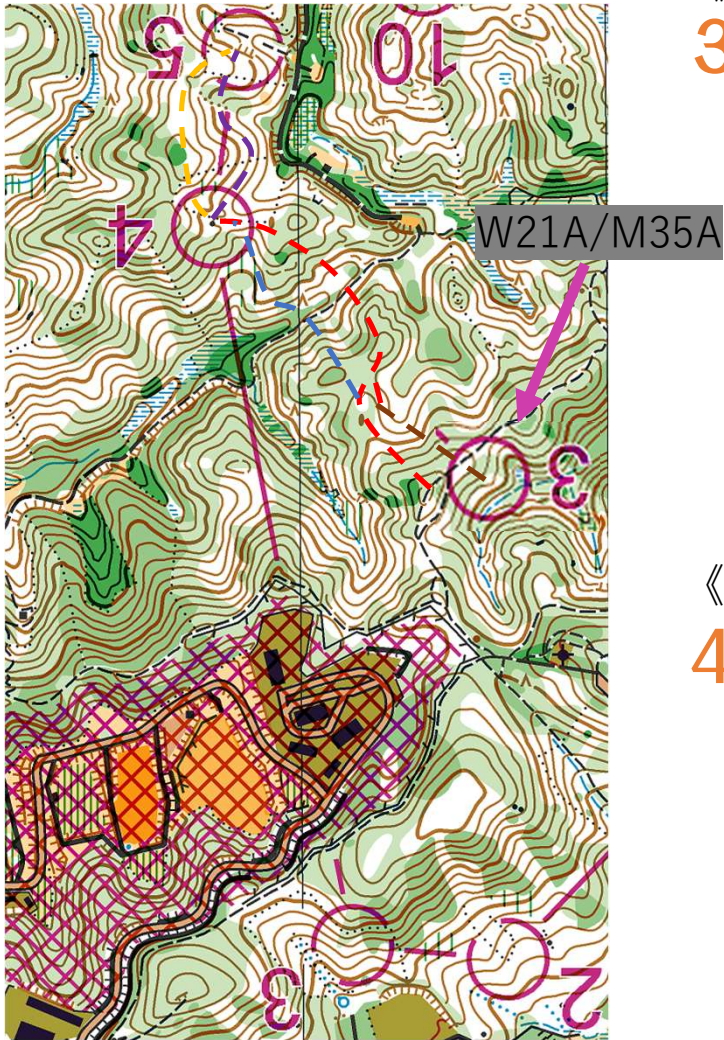
△→1

山塊を一つ越えなければならないので、真っすぐ行くのを躊躇した人もいないのだろうか。しかし、想定は赤。

最初の沢を登るときに、沢を詰めると、オープンのあるピークの方面に流れてしまうので、序盤からコンパスをよく見たい。

赤：390m・↑45m

青：630m・↑30m



《M21A・W21A/M35A》

3 → 4 序盤のロングレグ。下り斜面の藪の中で適切なナビゲーションが求められる。
想定は赤ルート。青ルートのように尾根の切り替えをせずに下ると、登距離が増えるように設定した。青ルートは直前まできつい斜面を登るため、4ポの脱出のしやすさも含めて意識してもらいたい。
序盤から体力を削られると思うが、勝負どころである。

《M21A》 赤：960m・60m 《W21A/M35A》 茶赤：440m

《M21A》 青：940m・70m 《W21A/M35A》 茶青：420m

《M21A・W21A/M35A》 《M50A/W35A》

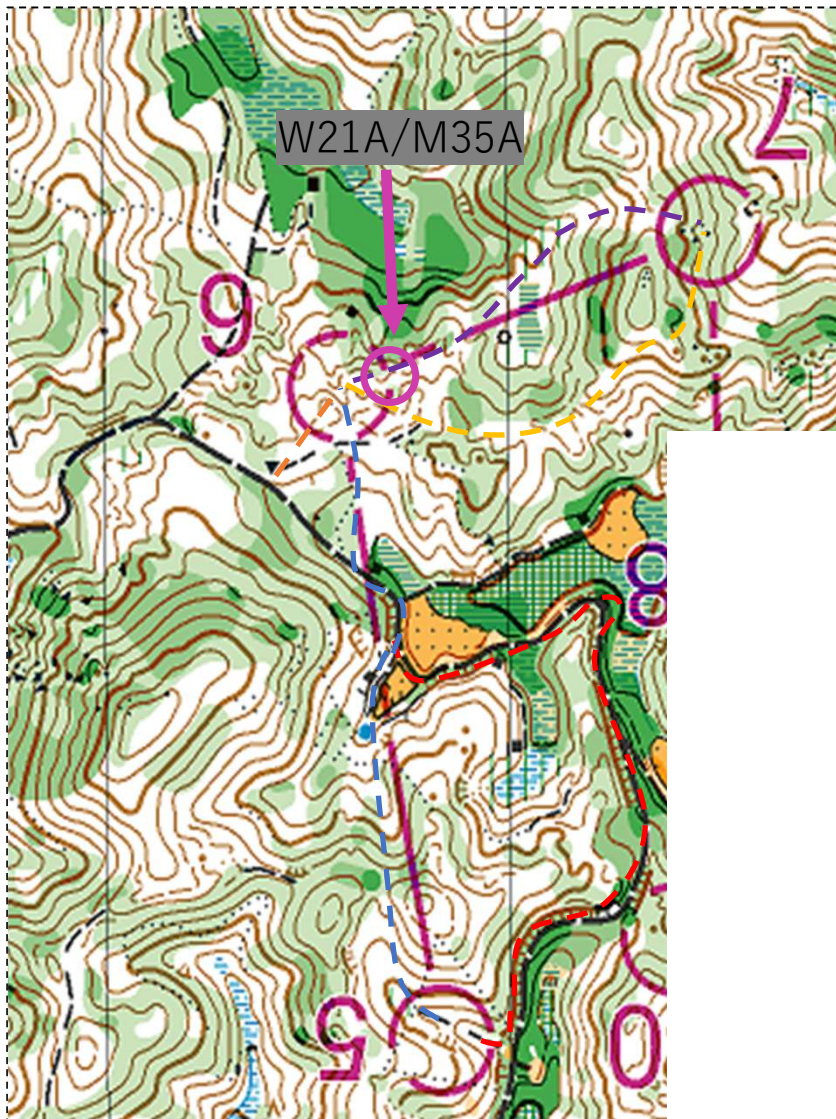
4 → 5

5 → 6

次は、コンタvs尾根辿り
紫ルートのコンタルートが想定。ロングレグからショートレグへの切り替えは、いかに脱出を早く実行できるかがカギとなる。

紫：170m・↑5m

黄：210m・↑15m



《M21A・W21A/M35A》

5→6

スプリンターは近くに見えてしまう道に脱出したくなるかも知だが、さすがに大きく距離が伸びるため青ルートが想定。

6ポは狭い範囲だが微地形エリア。道を逸れて以降の直進・読図の技量が試される。自信がなかったら、橙ルートのように岩石群から直進もありだろう。

青：520m・25m

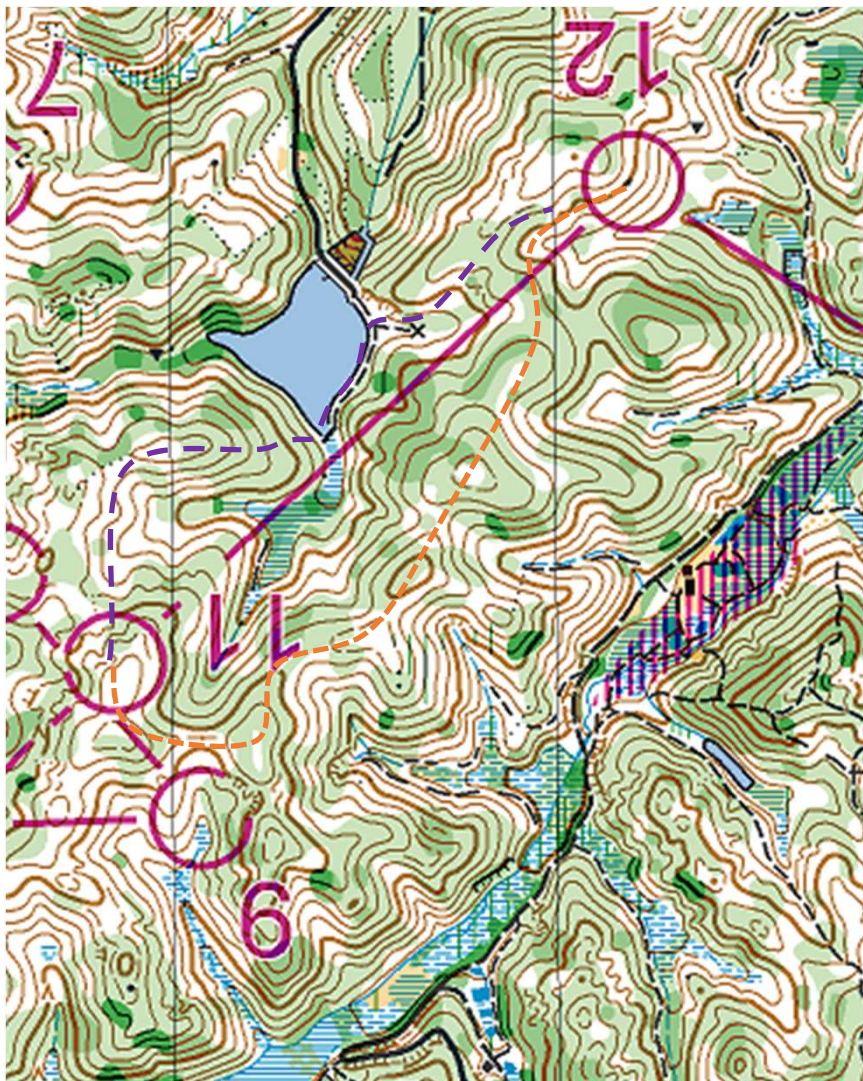
赤：820m・10m

(橙：+60m)

6→7 は尾根辺りの黄ルートと沢を詰める紫ルートが考えられるが、想定はアタックのしやすい紫ルート。

紫：280m・25m

黄：310m・30m



《M21A》

1 1 → 1 2

《W21A/M35A》

9 → 1 0

B藪の尾根辿りだが、そこまでスピードは落とさず走ることができる橙ルートを取らせたかったが、特徴物の多さ・アタックのしやすさの点から、紫ルート優勢か。

しかし、紫ルートも×(人特)のある沢幅が広いので、しっかり沢のどこを詰めるかによって、タイムは変動する。レースも後半だが、正確なナビゲーションを要する。

紫：640m・↑20m

黄：700m・↑25m

《M20A/M65A/W50A》

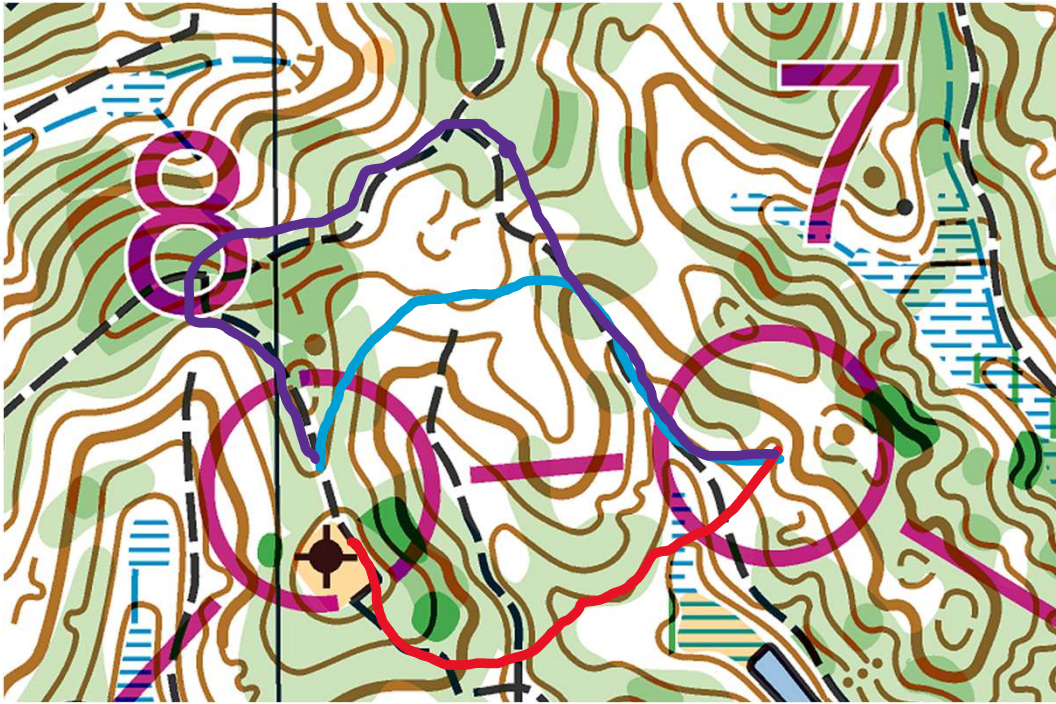
7 → 8

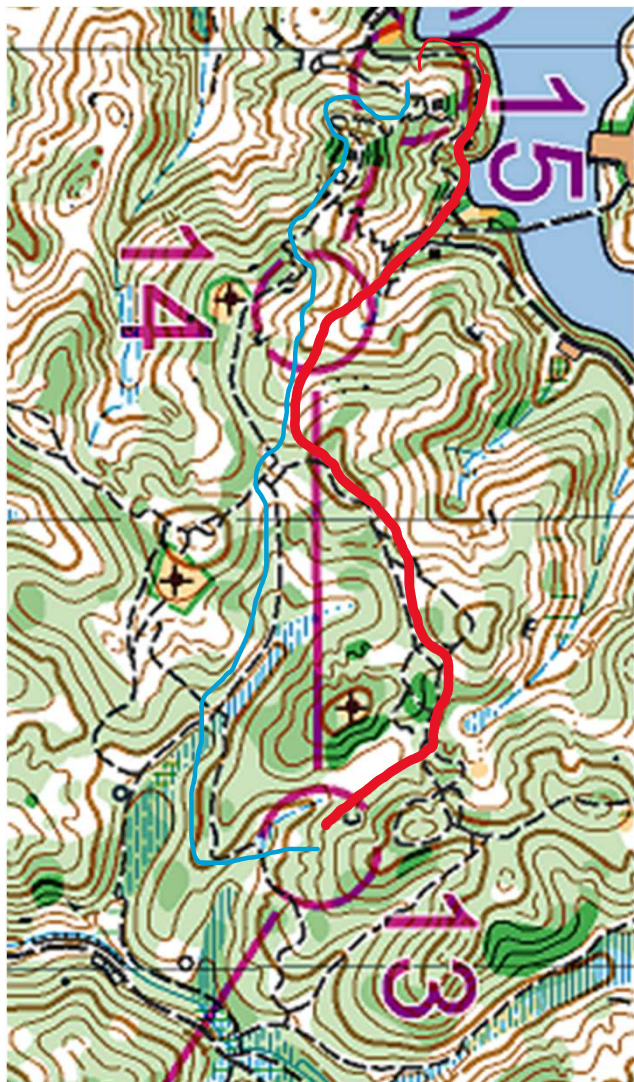
上記のコースで最大のルートチョイスは意外にもここ。
どこまで小径を繋ぐか、小径を外れるタイミングを瞬時に判断できるかがカギとなる。

赤230m ・ ↑ 25m

青240m ・ ↑ 25m

紫290m ・ ↑ 35m





《大半のクラス》 終盤

解説を入れるまでもないと思ったそこの貴方。
のんのんのんです。

右巻きは、混雑したハイキングルートに出るため、最短距離の小径をスピードを落とさずに辿れるかが、タイムを出すカギとなる。「とりあえず西に進めばいい」と気づいた人。正解です。

一方左巻きは、そのように考えることが少ないので、楽である。アタックも、鉄塔まで行かず分岐から沢を下るのが速い。

赤：400m・20m

青：390m・25m

・ラスポは、「ラスポ上から見るか下から見るか」というレッグにした。14ポ(M21Aの場合)先に登っておくと、アタックはしやすいが、小径が狭いかつ曲がりくねっているため、スピードは出ない。脱出後そのまま下りると、走りやすいが、迂回するようで、尚且つアタックはしにくい。

赤：240m

青：300m

おわりに、。



未熟者ながらコースをセットさせていただきました
3月に新潟大学オリエンテーリング部を卒業した神谷篤大と申します。

要項に距離が掲載されていなかったのは、申し訳ありませんでした。
毎年こんなもんらしいでこのようなコース設定をさせていただきましたが、21ASクラスの設定
など検討すべきでした。

特に大学生の皆さんは、ロングセレを6月に控え、ロングシーズンへ移行すると思いますが、5
月程まで新歓に勤しんでいると思うので、意外にもロング対策をする機会がないと思います。
少しでも対策になりましたら幸いです。

最後になりますが、ご参加いただきありがとうございました！